

竹富町地域ガソリン等安定供給体制維持計画（西表島）【素案】に関するパブリックコメント実施結果

実施期間：令和8年1月9日（金）～令和8年1月22日（木）

閲覧方法（場所）：竹富町ホームページ、竹富町役場政策推進課、各出張所

意見提出方法：電子回答フォーム、FAX、郵送、各出張所

No.	該当箇所	ご意見内容	回答
1		<p>西表島含む各離島地域のガソリンの安定供給について、貨客船のドック修理等による輸送の停滞などもあり、各販売事業所が頭を抱えながら安定供給に必死に取り組んでおります。例えば貨客船のスケジュールを予測し前倒しの在庫確保や保管、在庫が逼迫状態となると各事業所同士でのガソリンの貸し借りをを行い、島民の皆様には不安を与えない様に努力しています。また時には企業が全額負担で貨客船をチャーター、ガソリンを輸送し、これまで島民のライフラインを守ってきたのが現状です。観光客が増加する中、ガソリンを含め食料品、生活物資などが増加するのは当たり前のことで、その分貨客船の輸送量も増加致します。ガソリン輸送についても、常に要望する数量を搭載できれば安定供給ができます。しかし搭載数量が制限される事から、毎年逼迫しているのが現状です。2025年11月より竹富町の多機能船つむぎが運航開始し、これからの安定輸送にどこまで繋がるかは、期待はしている所ではありません。</p> <p>西表島においてもガソリンの安定供給に欠かせないことが、2点あり1点が貨客船の安定輸送、2点目に竹富町は各島孤島となる事から台風や時化による自然状況により唯一の輸送手段、海上輸送が途絶える事が多々あります。その際、常に備蓄タンクによる在庫確保が必要です。備蓄タンクを新設するには1億円前後の資金が必要となり、本土のSSのように月間数百KL、数千KL販売数量があれば投資回収も見込めますが、離島の需要キャバを考えると1販売社で資金投資できる範囲ではないと考えています。また施設の老朽化も進み、建替えするにも同様な資金が必要となります。老朽化により施設からガソリンなどの漏油等があれば、運営停止も余儀なくされ、島民の皆様のみならず、各事業社の運営にも多大なご迷惑をお掛けする事は予想されます。西表島のライフラインや雇用についてもSS事業は欠かせない事から、現在のSSを無くさない、守る事が先決です。事業継続には補助を活用した事業社の負担軽減に取り組み、新設や建替えをサポートしていく事が必要です。数十年先までのライフラインを見据え安定供給することで、島民が安心して暮らせる島作りに繋がります。是非今回の地域ガソリン等安定供給体制維持計画を機に、今後の竹富町全体の安定供給に繋がる事を期待しています。</p>	<p>ガソリン等の安定供給は、町民の安心できる暮らしや地域の経済活動、産業振興において大変重要なライフラインであると認識しております。いただいたご意見を考慮し、本計画の推進を通じて、西表島をはじめとする町全体のガソリン安定供給体制の維持に繋げていけるよう取り組んでまいります。</p>
2	p42 p62～64	<p>ガソリンは99%の住民が利用しておりアンケートでは高いので安く維持して欲しいとの要望が目立っており、私も同感なのでどうかしてほしいです。</p>	<p>ガソリンの価格についてのご意見につきましては6.ニーズの整理（p94）に回答を追加いたします。</p>
2	p 89	<p>年中無休にとの意見について、住民や観光客の多くの生活に関わるサービス業ですので、この意見もわかります。人がどう足りてないのかが不透明なので言いづらいですが、シフト制の導入などでうまく回すことができればいいのでは。</p> <p>そしてセルフ（他ページにありました）給油にするのも一つの打開策になると思います。</p> <p>これは、かねてからの要望ですが、洗車機の導入を熱望しています。ご検討宜しくお願い致します。</p>	<p>具体的な営業時間やサービス内容、セルフ給油や洗車機の導入といった施設改善については、各SS事業所の事業特性や経営状況によりますが、島民の利便性向上に資するご意見として、各SS事業所へ展開させていただきます。</p>